

- 問1 江戸幕府が琉球使節を江戸へ参府させた目的や背景として、当時の外交や政治の仕組みから考えて最も適切な説明はどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)

1. 異国風の装束をまとった使節を江戸に向かわせることで、将軍の権威が海外にまで及んでいることを内外に示すため。

2. キリスト教の布教を許可する代わりに、琉球を通じてヨーロッパの最新兵器を独占的に輸入しようとしたため。

3. 琉球王国を仲介役として、当時は国交が断絶していた清（中国）の皇帝に親書を届けるルートを確認するため。

4. 薩摩藩の支配から琉球王国を独立させ、幕府の直轄領として管理するための事務的な手続きを行うため。
- 問2 18世紀後半に老中となった松平定信は、天明の飢饉による社会の混乱を教訓とし、凶作や災害に備えて村ごとに米を蓄えさせる制度を整えました。この制度の名称と、これを含む一連の政治改革の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)

1. 目安箱 — 享保の改革

2. 株仲間の解散 — 天保の改革

3. 囲米 — 寛政の改革

4. 公事方御定書 — 享保の改革
- 問3 江戸幕府の財政再建と政治改革を目指した享保の改革において、第8代将軍の徳川吉宗が、庶民の意見を政治に反映させるために評定所の門前に設置した投書箱を何といいますか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)

1. 目安箱

2. 上知令

3. 公事方御定書

4. 株仲間の解散
- 問4 18世紀後半、老中の松平定信が行った寛政の改革では、天明のききんの教訓から、凶作などの非常事態に備えて諸藩や自治体に米を貯蔵させました。この政策を何といいますか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)

1. 上知令

2. 囲米

3. 株仲間の解散

4. 棄捐令
- 問5 1840年代、江戸幕府がそれまでの異国船打払令を改めて「薪水給与令」を出した理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)

1. 幕府の財政が窮乏したため、外国船に燃料を売却することで利益を得ようとしたため

2. アメリカからペリーが来航し、日本に対して正式に開国と通商を求める国書を提出したため

3. 隣国の清がアヘン戦争でイギリスに敗れたことを知り、欧米列強との武力衝突を回避しようとしたため

4. ロシアの使節ラクスマンが根室に来航し、漂流民の送還と通商を求めてきたため
- 問6 天保の飢饉が深刻化する中で発生した大塩平八郎の乱について、その当時の大坂の状況を説明した文として正しいものはどれか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)

1. 東北地方の農民たちが、凶作による年貢の減免を求めて集団で大坂へ押し寄せ、将軍への直訴を試みた。

2. 島原や天草の領主による過酷な年貢の取り立てに反発し、キリシタンを中心とした人々が城に立てこもった。

3. 「天下の台所」と呼ばれ、米の集積地であったにもかかわらず、米が江戸へ送られるなどして地元の民衆が飢えに苦しんでいた。

4. 長崎の出島を通じた貿易が制限されたことで、大坂の商人が輸入商品の不足を理由に幕府へ反旗を翻した。
- 問7 江戸時代の元禄文化において、井原西鶴が「浮世草子」という文芸作品を次々と生み出し、それが広く社会に受け入れられた背景として、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)

1. 武士の間で質素儉約を尊ぶ儒学の教えが広まり、教訓的な内容を含んだ物語が幕府によって強く推奨されたから

2. 商業の発展と都市の繁栄により、経済力をつけた町人が文化の新たな担い手となり、実生活を題材にした娯楽が求められたから

3. 寺子屋の普及によって農民の識字率が劇的に向上し、村々の経済活動を記録する文学が農村部に流行したから

4. 海外との交易が制限される中で、貴族たちが伝統的な王朝文学の形式を復活させ、町人にもそれを模倣することを求めたから
- 問8 17世紀後半から19世紀にかけての日本の歴史を分類した際、近世に該当する時期には、大阪（上方）や江戸などの都市部を中心に新しい文化が栄えました。この時期に、町人たちが主な担い手となって発展し、浮世絵や人形浄瑠璃などが生み出された文化を何といいますか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

1. 東山文化

2. 国風文化

3. 文明開化

4. 町人文化
- 問9 享保年間に作成された土地の記録には、網目のように張り巡らされた水路（堀）や、それによって新しく区画された「堀田」などの文字が詳細に記されています。このような大規模な土地改良が行われた目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)

1. 参勤交代の費用を捻出するため、街道沿いに宿場町を建設した

2. 海外との貿易を盛んにするため、輸出用の綿花を栽培する専用の畑を作った

3. キリスト教の布教を助けるため、教会周辺の土地を整備した

4. 年貢米の生産量を増やすことで、幕府の収入を安定させ、財政を再建した
- 問10 1604年から始まった朱印船貿易により、アユタヤやブノンベンといった東南アジア各地には日本人の居住地が形成されました。しかし、1635年に江戸幕府が日本人の海外渡航と帰国を全面的に禁止したことで、それまで活発だった朱印船の渡航数は途絶えることとなりました。この政策を推し進め、鎖国体制を確立させた shōgun（将軍）は誰ですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)

1. 徳川家光

2. 徳川家康

3. 徳川秀忠

4. 徳川吉宗
- 問11 江戸時代の農民による抵抗運動の推移をたどると、17世紀には少なかった発生件数が、18世紀後半から19世紀にかけて大幅に増加しています。19世紀前半に、天保の飢饉を背景として全国で百姓一揆が多発した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)

1. 幕府がキリスト教を禁止し、信者たちを厳しく弾圧する政策をとったため。

2. 外国船の来航に備えるため、幕府が農民を兵士として徴用しようとしたため。

3. 凶作による食料不足に加え、領主が厳しい年貢の取り立てを継続したため。

4. 借金に苦しむ農民が、室町時代のように徳政令の発布を幕府に要求したため。
- 問12 17世紀初め、徳川家康が海外渡航を認める許可証を与えた船によって行われ、東南アジア各地との間で盛んになった貿易を何といいますか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)

1. 南蛮貿易

2. 勘合貿易

3. 朱印船貿易

4. 日宋貿易
- 問13 江戸幕府は、金山や銀山を直接支配下に置き、全国統一の貨幣として金貨、銀貨、銭貨（銅貨）を体系化して発行しました。この貨幣制度の名称として最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 朱印状

2. 藩札

3. 寛永通宝

4. 三貨